

American DJ®

X-SCAN LED PLUS

取扱説明書

Ver. 1.01



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ X-SCAN LED PLUS をご購入頂き誠にありがとうございます。X-SCAN LED PLUS は DMX 規格に対応した LED ミラースキャンです。サウンドアクティブモードでの使用が可能な他、DMX コントローラーを使って操作する事もできます。また、X-SCAN LED PLUS は光の筋を見せるためにフォグマシンと組み合わせてご使用になることをお勧めいたします。

本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

基本仕様

- LED: 10W × 1
- DMX 対応 (8DMX チャンネル)
- サウンドアクティブ機能 (マイク内蔵)
- 色: 8 色 + 白
- ヒューズ: 2A タイムラグ
- 電源: AC100V 50/60Hz
- 消費電力: 44W
- 寸法: 20W × 15H × 38.6Dcm、4.4kg

※製品の仕様は改良の為、予告無く変更する場合がございます。

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。本体に異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談下さい。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置して下さい。また、電源ケーブルは踏まれたり挟まれることのないようご注意下さい。
3. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れて下さい。本体を他の機材と接続する際には、必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
4. 電源、電圧が正しい事を確認して下さい。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用下さい。また、アース端子は必ず接続して下さい。
5. 感電防止の為、使用中は部品に触れないで下さい。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないで下さい。
6. 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合、保証対象外となりますので予めご了承下さい。
7. 本体は壁から約 15cm 以上離れた通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意下さい。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないで下さい。
8. 本体に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意下さい。感電や火災の原因になります。
9. デイマーパックからの電源供給は行わないで下さい。
10. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外して下さい。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡下さい。

メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

DMX-512 について

DMX-512

DMX-512 とは、照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための、世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN/OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより、複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより、DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMXリンク

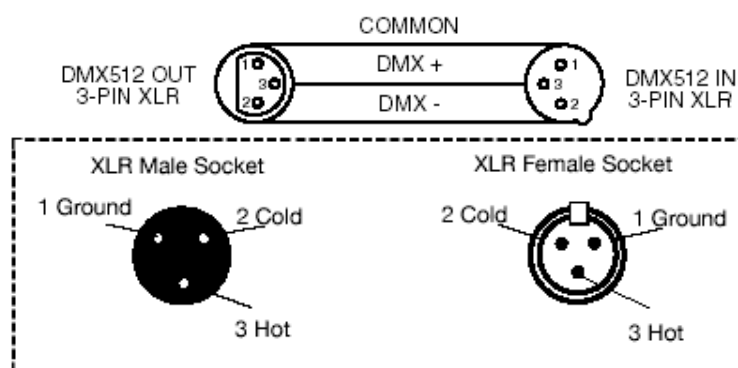
DMXデータの正確な送受信を行うために、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使い下さい。また、ユニットが接続された順番と、DMXのアドレス指定は関係ありません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

X-SCAN LED PLUS は 8 チャンネル分の DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体の裏面の操作パネルで設定して下さい。DMX 機器との接続は、3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。



DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照して下さい。



5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

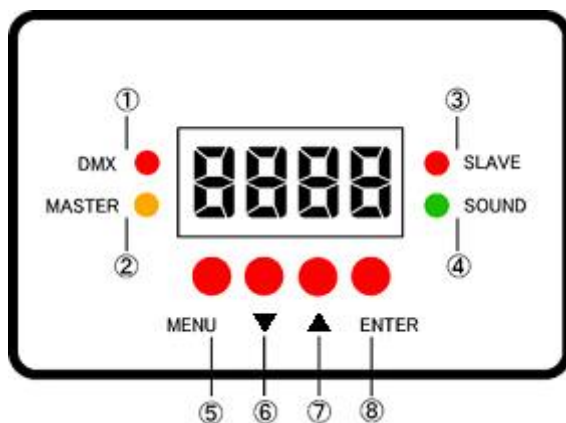
照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクタの代わりに、5 ピン仕様の XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクタを X-SCANLED PLUS に接続する際は、変換アダプターをお使い下さい。

操作メニュー

本体の設定は、操作パネルを使用します。

MENU ボタンでメインメニューに入り、UP/DOWN ボタンでメニューを探し、ENTER ボタンで決定します。▲/▼ボタンで任意の設定を選択し、ENTER ボタンで設定を確定して下さい。設定画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

操作パネル



- ①DMX インジケータ
- ②マスターモード インジケータ
- ③スレーブモード インジケータ
- ④サウンドアクティブ インジケータ
- ⑤MENU ボタン
- ⑥DOWN ボタン
- ⑦UP ボタン
- ⑧ENTER ボタン

メニュー	選択画面	機能
Addr	1	DMX スタートアドレスの設定
	5 12	
SLNd	SL 1	スレーブモード “ノーマル“
	SL 2	スレーブモード “2 ライトショー “
SOUn	on	サウンドアクティブモード ON
	off	サウンドアクティブモード OFF
bLNd	No	ブラックアウトの解除
	YES	ブラックアウト
IPAn	No	パンの正転
	1	パンの逆転
tLt	No	チルトの正転
	1	チルトの逆転
LEd	on	ディスプレイの点灯
	off	ディスプレイの消灯
d ISP	d ISP	ディスプレイの正転
	dS IP	ディスプレイの逆転
tENP		温度測定
FhrS		灯体の稼働時間(消去不可)
uEr		灯体のソフトウェアバージョン
rSet		リセット

Addr

DMX アドレスの設定を行います。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『Addr』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. ディスプレイに任意の数値が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定して下さい。
3. 設定した数値がディスプレイに表示されるまで、MENU ボタンを長押しします。

SLNd

マスター/スレーブの設定を行います。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『SLMd』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. 『SL 1』、『SL 2』の内、任意の設定が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定します。『SL 1』に設定した灯体はマスター機と同様の動作、『SL 2』に設定した灯体はマスター機と反対の動作になります。
3. 設定画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

SOUn

サウンドアクティブモードに設定できます。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『SOUn』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. サウンドアクティブに設定する場合は『ON』、サウンドアクティブを解除する場合は『OFF』が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定して下さい。

bLNd

ブラックアウトに設定できます。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『bLNd』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. ブラックアウトに設定する場合には『yes』、ブラックアウトを解除する場合は『no』が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定して下さい。
3. 設定画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

1PAn

パンの方向を逆転させることができます。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『1PAn』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. パンを正転に設定するには『no』、パンを逆転させるには『1』が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定して下さい。
3. 設定画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

1tLt

チルトの方向を逆転させることができます。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『1tLt』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. チルトを正転に設定するには『no』、チルトを逆転させるには『1』が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定して下さい。
3. 設定画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

Led

ディスプレイの ON/OFF の設定を行います。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『Led』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. ディスプレイを消灯させるには『OFF』、ディスプレイを点灯させるには『ON』が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定して下さい。

d iSP

ディスプレイの表示を逆転させることができます。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『diSP』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンで確定すると、ディスプレイが逆転します。
2. ディスプレイを正転に戻すには、ディスプレイの表記が再度『DISP』となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定します。

TEMP

灯体の温度を測定します。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『TEMP』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. 灯体の温度が表示されます。設定画面から戻る場合は MENU ボタンを押します。

FhrS

稼働時間を確認することができます。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『FhrS』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押して確定すると、稼働時間が表示されます。
2. 確認画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

ver

灯体のソフトウェアバージョンを表示します。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『ver』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. 灯体のソフトウェアバージョンが表示されます。設定画面から戻る場合は MENU ボタンを押します。

rSet

本体をリセットします。

メニューボタンを押し、ディスプレイの表記が『rSet』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押して確定すると、本体がリセットされます。

操作モード

- サウンドアクティブモード : 内蔵マイクで感知した音に反応して本体が動作します。
DMX モード : DMX コントローラーで操作します。

サウンドアクティブモード

内蔵マイクで感知した音に反応して内蔵プログラムが動作します。

DMX 信号を受信していない状態の場合、自動的にサウンドアクティブモードになります。

サウンドアクティブモードで動作させる場合は、本体をマスターかスレーブに設定します。

2 台以上の X-SCAN LED PLUS を同期して動作させる場合には、本体の背面にデジタル 3 ピン XLR ケーブルを接続し、灯体を直列に連結して下さい。マスターとなる灯体が端になるようにし、マスター灯体の XLR メスに 3 ピン XLR ケーブルオスを接続します。

マスター灯体を『MASt』、マスターに同期させるスレーブ灯体を『SLMD』に設定してください。接続した全ての灯体がマスター灯体に同期して動作します。

X-SCAN LED PLUS は最大 16 台連結し同期させることができます。

サウンドアクティブモード時に本体がマスターに設定されている場合は MASTER インジケータ、スレーブに設定されている場合は SLAVE インジケータが点灯し、音を感知した場合にはサウンドアクティブインジケータが点灯します。

DMX モード

DMX コントローラーで操作することができます。

DMX コントローラーと X-SCAN LED PLUS を DMX ケーブルで接続し、MENU の『Addr』で DMX アドレスを設定して下さい。DMX 信号を受信すると、本体の DMX インジケータが点灯します。設定が完了したら、DMX コントローラーで X-SCAN LED PLUS を操作して下さい。

DMX 表

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	<u>パン</u>
2	0-255	<u>チルト</u>
3	0 - 14 15 - 29 30 - 44 45 - 59 60 - 74 75 - 89 90 - 104 105 - 119 120 - 127 128 - 254 255	<u>カラー</u> ホワイト オレンジ ブルー グリーン イエロー ピンク ライトブルー ライトグリーン ライトイエロー レインボーエフェクト 遅→速 サウンドアクティブ
4	0 - 7 8 - 14 15 - 21 22 - 28 29 - 36 37 - 43 44 - 50 51 - 57 58 - 63 64 - 71 72 - 78 79 - 85 86 - 92 93 - 100 101 - 107 108 - 114 115 - 121 122 - 127 128 - 254 255	<u>ゴボ ホイール</u> オープン ゴボ 1 ゴボ 2 ゴボ 3 ゴボ 4 ゴボ 5 ゴボ 6 ゴボ 7 ゴボ 8 オープン シェイク ゴボ 1 シェイク ゴボ 2 シェイク ゴボ 3 シェイク ゴボ 4 シェイク ゴボ 5 シェイク ゴボ 6 シェイク ゴボ 7 シェイク ゴボ 8 シェイク ゴボホイール ローテーション 遅→速 サウンドアクティブ

5	0 - 7 8 - 15 16 - 131 132 - 139 140 - 180 181 - 189 190 - 231 232 - 239 240 - 247 248 - 255	<u>シャッター/ストロボ</u> ブラックアウト シャッター オープン ストロボ 遅→速 シャッター オープン シャッター オープン 遅 → 速 クローズ シャッター オープン シャッター 速 オープン → 遅 クローズ シャッター オープン ランダム ストロボ シャッター オープン
6	0 - 255	<u>ディマー</u> 0 %- 100%
7	0 - 7 8 - 28 29 - 49 50 - 70 71 - 91 92 - 112 113 - 133 134 - 154 155 - 175 176 - 196 197 - 217 218 - 238 239 - 255	<u>ムービングヘッド動作</u> ファンクションなし 動作 1 動作 2 動作 3 動作 4 動作 5 動作 6 動作 7 動作 8 動作 9 動作 10 動作 11 動作 12
8	0 - 255	<u>動作スピード</u> 速→遅

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行って下さい。＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用下さい。

外側のレンズ <一週間に一度>

■レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。

内部レンズ <一ヶ月に一度>

■内部レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で埃や汚れを拭き取ってください。

ファン、通気孔 <一週間に一度>

■ファンの動作不良、通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。ファンや通気孔に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません。

→ファンや通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

内部各種センサー <一ヶ月に一度>

■温度センサー及び、各部位の動作状況を確認する為のセンサーに埃や汚れが付着しますと、誤動作、故障の原因となります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

ミラースキャンのミラー <一週間に一度>

■ミラーに埃や汚れがつきますと、光が弱くなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で拭いた後、から拭きを行って下さい。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 <一ヶ月に一度>

■差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認下さい。

ネジ <三ヶ月に一度>

- 各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。
→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認下さい。

故障かな？と思ったら

X-SCAN LED PLUS が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認下さい。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせ下さい。

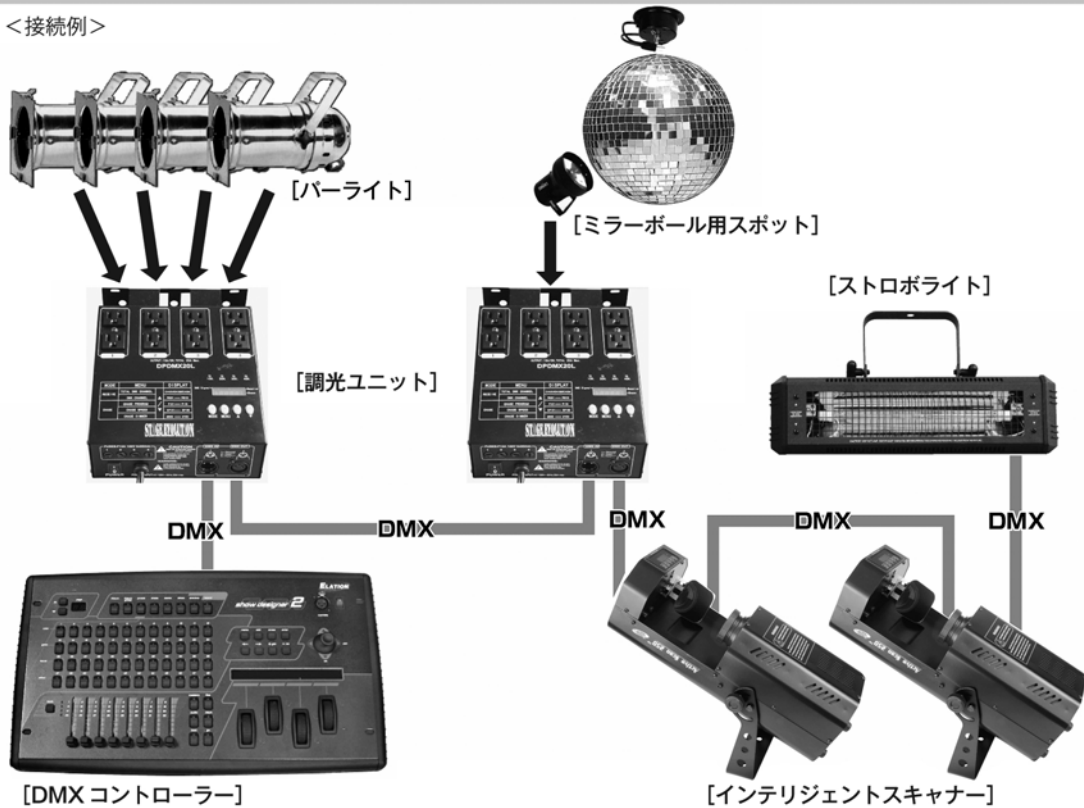
症状		確認事項
電源が入らない		<ul style="list-style-type: none">・ 正しい電源・電圧に接続されているか・ 電源ケーブルが損傷していないか・ ヒューズが切れていないか
マスタースレーブモード時にスレーブ機が動作しない		<ul style="list-style-type: none">・ 接続された複数台の X-SCANLED PLUS の内、1 台のみがマスター機に設定されているか
DMX で動作しない	DMX 信号インジケータが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">・ 接続に問題がないか・ 正常な DMX ケーブルを使用しているか
	DMX 信号インジケータが点灯している	<ul style="list-style-type: none">・ DMX チャンネルが正しく設定されているか
サウンドアクティブで動作しない		<ul style="list-style-type: none">・ マスターとスレーブの設定が正しく行われているか・ 小さい音や高音でないか

ヒューズ交換方法

1. 電源ケーブルを抜いてください。
2. 電源コードの隣にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーで引き出して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- DMX対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルにはDMXケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX対応のスモークマシーンも同様に接続可能です。
- DMX対応の照明機器を接続する順番は決まっていますが、なるべく距離が長くない様に配線を行って下さい(※)。
- 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64やPAR38等)の明るさを調節します。
- インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※—長距離の配線について—

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお勧め致します。</p>
<p>抵抗</p>	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートして下さい。</p>



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。